

大分県人権問題講師団育成研修会

研 座 演 沙 資 映 他 体 ワ

大分県教育委員会
大分県教育庁人権・同和教育課
TEL 097-536-1111 (内5553)

| | |
|--------------|--|
| 実施年月日 実績等 | 2年間の取り組みの1年次 前期：平成16年6月24日(木)、25日(金) 参加人数：17人 後期：平成16年11月18日(木)、19日(金) 参加人数：17人 ※研修会参加者には「市町村人権教育推進講座ファシリテーター養成コース」への参加も義務づけている |
| 主催(共催) | 大分県教育委員会 |
| 開催場所 | 大分県立生涯教育センター |
| 対象 | 市町村教育委員会から推薦された社会教育指導員、福祉ボランティアなど |
| 人権課題 | 同和問題、外国人、障害者、高齢者、女性、子ども |

事業の目的

人権教育推進の基本理念や方向性を示すため、平成17年1月に策定された「大分県人権教育基本方針」にもあるとおり、さまざまな人権問題を解決するためには、県内各地域での人権教育を推進する必要がある。それには、講演やワークショップ等の研修会において活躍する指導者の育成と、各市町村への指導者の配置が重要である。人権に精通する専門家による講演と体験的参加型学習を取り入れた研修会を実施することで、人権問題に深い認識を持ち、かつ、リーダーシップを発揮してワークショップを主導する指導者(ファシリテーター)を育成する。

事業概要

この研修会のプログラムは一般講師と人権・同和教育課職員、大分県人権問題講師団、アナウンサーなどによる講演および参加者どうしの協議によって構成される。

まずは、社会教育と学校教育における人権教育の現状と課題、そして、ワークショップとはどういうものかに始まり、企画、進行までのワークショップの基本について説明する。その他の講演・ビデオ上映では、女性、子ども、外国人など人権に

関する主要課題のあらましを学ぶ。放送局のベテランアナウンサーは、参加者に言いたいことを分かりやすく伝える方法を伝授する。講演後には、参加者は5つのグループに分かれ、これらの講義・講演の内容について協議をする。

研修会終了後には、大分県人権問題講師団に講師として登録し、市町村から要請があった場合には、大分県が講師として派遣している。

講演・ビデオ上映タイトル

前期

- 大分県人権問題講師団育成研修会の概要について
- 人権教育の推進について
- 学校教育における人権教育の現状と課題
- 講師団として伝えたいこと
- 51%で…まあ…いいかな…と 一研修・啓発の現場から人権の重みを思う一
- 多文化共生の大分県を目指して

後期

- 女性をめぐる問題について
- ビデオ上映「わたしたちの話を聞いて！子どもの権利条約」
- 子どものエンパワメントと人権
- 障害者をめぐる問題について
- ビデオ上映「風の旅人」

○高齢者をめぐる人権問題について

また、研修会参加者には、別に行われる「市町村人権教育推進講座ファシリテーター養成コース」への参加も義務づけている。人権教育に関するワークショップの企画・運営等について、体験的参加型学習に参加することにより、実践的指導力をもって人権教育を推進する指導者(ファシリテーター)の素養を身に付ける。1日の終わりには、参加者が学習した内容を報告し、感想を述べることで、グループ間で学習内容を共有し、課題についての理解を深め、課題解決のための意欲を増進させる。

特色・工夫した点

確かな理論と豊富な実践から、受講者の心に迫るような話ができる講師の選定を心がけ、県内外から講師を召集した。

講演については、講師まかせにするのではなく、教育委員会が事前に具体的な内容を聞き、ともに構成を考えた。そのため、講演後の協議までとどこおりに進んだ。

参加者同士がけんせいし合うことなく、協議に参加できるよう、和やかな環境作りに努めた。

「内容がよく理解できた」「おおむね理解できた」「楽しく活動できた」「おおむね楽しく活動できた」「協議に参加できた」「大部分の協議に参加できた」と回答した参加者の割合が全体の約75%を超えていた。

参加者の感想は次のとおり。

- 人権問題についての実態がよく分かった
- 近所に気軽に語りかけられる人権問題の素材を得られてよかった
- 不勉強ゆえに、あまり理解しきれないところがあった

反省点・今後の課題

参加者が自由に意見を交換し合える環境作りに努めたせいか、研修会の最後には、参加者同士の仲間意識が強まった。終了後も連絡を取り合うような、参加者間のネットワークができあがったのは収穫である。今後は、引き続きよりよい講師選定に努めるとともに、参加者が積極的に参加できる雰囲気づくりに一層努めていくことが大切だと感じた。

参加者は、講演の内容が自分の生活や体験に即さない表層的なものであると満足できないことが分かった。参加者の心に訴える話ができる講師の選定のために、日頃から情報収集にとめる。

参加者の経歴はさまざまで、人権に関する知識にも差がある。どのような受講者にも納得の行く研修を行うために進行を工夫していく必要がある。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

研修終了後のアンケートによると、いずれの研修においても、



大分県がとりまとめた「大分県人権教育推進計画」の概要図